

● フランス・マラコフ市の活動

核兵器禁止条約発効1周年に際し署名活動を展開

2022年1月23日、パリに隣接するマラコフ市の市役所前にある大広場で市長や市議が地元の平和団体と共に、フランス政府に対して核兵器禁止条約の批准を呼び掛ける署名運動を行いました。

前日の22日にはパリで様々な団体が条約の発効一周年を祝う集会を行いました。マラコフ市は翌日に行いました。その日は日曜日で、市役所前の大広場で規模の大きな朝市が開かれ、パリや周辺の町からもたくさんの人々が買い物に来るからです。

当日は新型コロナの変異株による新規感染者数が国内で50万人を超えた数日後のことでもあり、訪れた人々がマスクをして、ソーシャル・ディスタンスを守りながら買い物する中、アロダ議員がマイクを片手に平和首長会議の役割や核兵器禁止条約を説明し、平和団体がチラシを配り、フランス政府による条約の批准の重要性を市民に訴えました。



残念ながら、核兵器保有国であるフランスでは、テレビなどの主要マスメディアはこの条約に関する報道をしていません。今後も市町村や市民団体による地道な活動が期待されます。

(報告:平和首長会議フランス支部 美帆シボ氏)